

## 教育学部のプロフィール

教育学部は、その前身を明治初期に発足した師範学校に置く、本学でもっとも古い歴史を持った学部です。1949年に新制和歌山大学となり、現在に至るまで150年近くにわたり一貫して教員養成を通じた地域社会への貢献に努めてきました。このたび、現在の学校をとりまく様々な教育課題と向き合いながら、「地域とともに学びの未来を拓く教師」を育てるため、2023年度より学校教育教員養成課程を改革し、学校教育コース・支援教育コースの2つのコースを設置します。

## カリキュラム

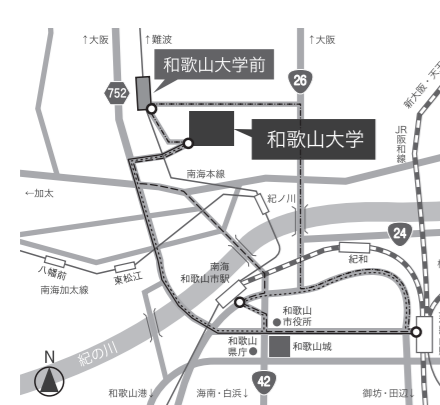
	学校教育コース	支援教育コース
卒業により取得できる学位	学士(教育学)	学士(教育学)
卒業と同時に取得を必要とする免許状	小学校教諭1種免許状	小学校教諭1種免許状 特別支援学校教諭1種免許状(知的障害・肢体不自由・病弱)
卒業に必要な単位数	132	132
卒業に必要な外国語(教養)の単位数(科目数)	10(6科目)	10(6科目)
本学で取得可能な免許状 ※取得には条件があります	幼稚園・小学校・中学校(国語・社会・数学・理科・音楽・美術・保健体育・技術・家庭・英語) 高等学校(国語・地理歴史・公民・数学・理科・音楽・美術・保健体育・家庭・英語) 特別支援学校(知的障害・肢体不自由・病弱)	
免許状を追加取得するための条件	あり	あり
コース・専攻に所属する時期	2年次4月	2年次4月
専攻の種類	教育学・心理学・幼児教育・国語教育・社会科教育・数学教育・科学教育(理科・技術)・音楽教育・美術教育・保健体育・家政教育・英語教育	特別支援教育
卒業ゼミに所属する時期	3年次4月	3年次4月
卒業業績	必要	必要
教育実習(必修)の時期	3年次9月(小学校)	3年次9月(小学校)、 3年次10月(特別支援学校)
教育実習(選択)の時期	主に3年次10~11月(幼稚園・中学校)、 4年次6月(高等学校)、 4年次10月(特別支援学校)を予定	主に3年次11月又は 4年次10月(幼稚園・中学校)、 4年次6月(高等学校)を予定
介護等体験の時期	主に2年次8月~12月	なし

## 入学者選抜(2022年度実施)

	一般選抜		学校推薦型選抜		
	前期日程	後期日程	(一般推薦枠)	きのくに教員希望枠	地域【紀南】推薦枠
募集人員	90	25	30	10	10
大学入学共通テスト	必要	必要	必要	-	-
個別学力試験(筆記試験等)	国語 or 数学 or 実技	-	-	小論文	小論文
個別学力試験(面接)			あり		
推薦の対象校			なし	あり	あり
1校あたりの推薦可能人数※			3名	2名	3名
出願に必要な全体の学習成績の状況			-	4.0以上	4.0以上
出願	1月23日~2月3日	1月23日~2月3日	12月20日~22日	11月1日~2日	11月1日~2日
入学試験日	2月25日	3月12日	1月21日	11月12日	11月12日
合格発表日	3月6日	3月21日	2月10日	12月1日	12月1日

※詳細については学生募集要項を確認してください。

## 大学へのアクセス



電車でのアクセス		空港からのアクセス	
難波	南海本線特急で約50分	関西国際空港	南海関西空港線で泉佐野乗換約35分~60分(連絡の都合で変わります)
天王寺	JR和歌山線快速で約70分	伊丹空港	リムジンバスで約45分
新大阪	JR阪和線快速で約90分		
大阪	JR特急くさしおで約60分		
JR紀伊田辺	JR御坊		
	JR特急くさしおで約45分		
	JR特急くさしおで約70分		





## 新しいカリキュラムの特色

### 学校教育コース

子どもの発達や教科のつながりを理解し、現代的教育課題の解決に取り組む教員を目指します

### 支援教育コース

特別な教育的ニーズを有する子どもの特性を多角的に理解し支援できる教員を目指します

教育学部の新しい教員養成カリキュラムは、小学校教諭1種免許状の取得をもとにして、4年間にわたり理論と実践を往還しながら子どもと教育に関する専門的な分野について学びます。

新たに設定するコース共通科目群では、教育学部に所属するすべての学生が学ぶ初年次教育に加え、さまざまな教育課題をテーマにした授業を多く配置することで、現在の学校をとりまく多種多様な事象を多面的・多角的に学ぶ機会を設けます。また3年次後期には、さまざまな校種の学校園や小規模校における教育実習、学生自身が計画した各種体験活動、留学や資格取得等に専念することができる期間を新たに設定します。これらを通して、**地域とともに学びの未来を拓く教師**としての基盤の獲得を目指します。

**特色01** 全員が  
小学校の教員免許状を取得します

新しい教育学部のカリキュラムは、小学校の教員免許状をベースに必要な単位を追加することにより各種教員免許状を取得するシステムとなります。

**特色02** 現代的教育現場に対応できる  
思考力や実践力をつちかいます

教育学部生全員を対象にした「コース共通」科目群では、現代的教育課題を学ぶ科目や地域での各種ボランティア活動に対応する科目を新たに設定します。

**特色03** 入学後半年間かけて、  
何を学ぶかを考えることができます

教育学部で専攻を決定するのは1年次後期。入学時に学びたい専攻が決まっていなくても入試選抜区分に応じて幅広い分野から専攻を決定することができます。

**特色04** 学校や社会のリアルと  
じっくり向き合う期間  
「アクション・ターム」を設けます

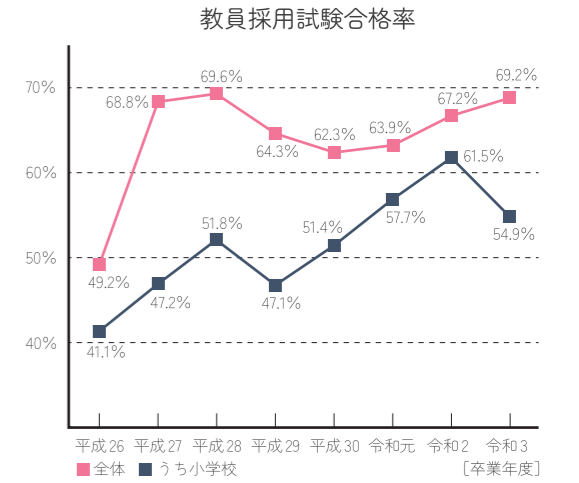
新しい教育学部のカリキュラムは、3年次後期に「アクション・ターム」という必修授業を設けない期間を設定しへき地・複式教育実習<sup>※</sup>やボランティアをはじめ自己啓発活動を集中して実施できる環境を整えました。

※へき地・複式教育実習は、和歌山県内で複式学級を持つ小規模校で2週間にわたってホームステイ形式で行われる教育実習です。参加は希望制です。

## 高い水準の教員採用試験合格率

令和3年度  
合格率 **54.9%** [合格者 56名 (うち小学校 36名)]

教育学部の**教職キャリア支援室**では、豊富な教職経験を持った客員教授が常駐し、学生の皆さんとともに教員就職に向けた最適な学びをデザインします。教員採用試験に向けた面接や小論文指導はもちろん、教職に関する悩み相談など、一人一人にあわせたきめ細かな支援を実施しています。



## 実践力をつちかう

教育学部の**教職実践支援ユニット**では、豊富な教職経験を持った客員教授やスタッフが常駐し、学生の皆さんからの相談を聞きながら、アドバイスはもちろん、学校現場や地域とのコーディネートなど、皆さんの活動を強力にサポートします。これまでボランティアの経験がなかったくなくても大丈夫です。

### 「学校の今」を知りたいなら

#### 教育ボランティア

和歌山県内外の学校園において学校行事や教科指導の補助にたずさわわり、「学校の今」を身近に体験し、自ら社会へ積極的にかかわっていく力を養います。教師を目指す学生にとって学校現場を知るための貴重な場となっています。

### これまで学んだ技能を活かしたいなら

#### 放課後クラブ活動の支援（教育ボランティア）

高校時代までたずさわってきたクラブ活動。今度は学校の一員として放課後クラブ活動を支援することで、これまでつちかってきた技能を子どもたちに伝えるとともに、子どもたちの放課後をサポートしていきます。

### 「和歌山の小規模校」を知りたいなら

#### 小規模校活性化支援事業

1・2年次学生が和歌山県内の小規模校に出向き、1週間のホームステイ生活とともに、子どもの学習支援や運動会をはじめとする学校行事支援を行い、「和歌山の小規模校」を五感で学びます。この事業は地域からの強力なバックアップを受けることによって初めて成り立つ取り組みです。

### ミュージアムボランティア

博物館や美術館のさまざまな活動にボランティアとして参加することで、将来の教育や文化の発展を支えるための基礎を身につけます。

#### ■ミュージアムボランティアにはこんな活動もあります！

文化財の多い和歌山県。高齢化に悩む地域の仏像を盗難被害から守るため、3Dプリンター製のレプリカを本物さながらに着色し、現地に奉納する「お身代わり仏像」の取り組みに学生ボランティアが協力しています。美術や歴史に興味のある学生が活躍しています。

## 取得可能な教員免許状

### 卒業と同時に取得できる教員免許状

学校教育コース	支援教育コース
小学校	小学校・特別支援学校（知的障害・肢体不自由・病弱）

必要な単位を追加することにより取得をめざせる教員免許状 ※取得には一定の条件があります。

学校教育コース	支援教育コース
幼稚園 中学校 (国語・社会・数学・理科・音楽・美術・保健体育・技術・家庭・英語) 高等学校 (国語・地理歴史・公民・数学・理科・音楽・美術・保健体育・家庭・英語) 特別支援学校（知的障害・肢体不自由・病弱）	幼稚園 中学校 (国語・社会・数学・理科・音楽・美術・保健体育・技術・家庭・英語) 高等学校 (国語・地理歴史・公民・数学・理科・音楽・美術・保健体育・家庭・英語)